



平成27年度「篠ノ井西中学校 学校通信」



# 布施だより

発行日 平成27年6月11日

第9号(185号) 校内版

長野市立篠ノ井西中学校

電話(026)292-0244

FAX(026)292-7880

担当:教頭 中山

## 《 なぜかとても気持ちがいい音だな ~壮行会で~ 》



先週末の5日(金)に北信陸上・市中大会・技術部鈴鹿大会の壮行が開かれました。次の文章は壮行会を終えた翌週の「学級だより」からお借りしたものです。

○壮行会がありました。自分はステージに立った。すごく緊張しました。ステージに立っていない2年生や(フロアにいる)少しだけの3年生の声がとても大きくて、迫力がありました。今までの応援練習を頑張ったんだと感じることができました。こんな応援をされて、自分たちがステージに立っているのが、とても誇らしく感じました。

○壮行会がありました。私は運動部ではないので、一体どんな思いで、選手の皆さんがこの壮行会に出ているのか正直なところよく分かりません。けれども、せめて試合中にこの壮行会を思い出して、背中を押せたらと思い応援しました。選手入場、退場の時、吹奏楽部の演奏と、応援をした人たちの拍手の音が重なってなぜかとても気持ちがいい音だなと感じました。全力で頑張っほしいです。

この日までの各学級・学年での応援と5回の全校応援練習を経て、初めはなかなか声や動作が揃わず、もどかしい思いを抱いていた生徒たちが、壮行会当日に選手入・退場の時、吹奏楽部の演奏と応援をした人たちの拍手の音が重なることの気持ちよさに気づきます。それは拍手の音が重なるのと同様に、677名の生徒諸君の壮行の気迫がピタッと重なり合った心地よさなのですね。だからそんな気迫溢れるステージに立った選手諸君は『誇らしく』受け止めることができるのです。これ

を人は『意気に感じる』と表現します。

壮行会を終えた後、応援団諸君は応援をしてくれたフロアーの諸君に、これまでの応援練習と気迫を揃えてくれた壮行に対してお礼の気持ちをきちんと伝えます。そして全校生徒が退場した後、次に応援団諸君は吹奏楽部諸君の所へ駆け寄って、演奏のお礼を伝えます。

気迫と熱情と節度に満ち溢れた素敵な、素敵な壮行会でした。

## 《 母校に学ぶ ～教師を志しませんか～ 》

6月 大自然が新鮮な躍動の時期を迎えるのと同じように、西中校内にも澁刺とした風が吹く季節です。

今年も本校卒業生4名の諸君が1日(月)より教育実習の先生として母校の教壇に立っています。西澤亮太先生(社会科:2年7組)、風間杏子先生(保健体育科:1年1組)、木場田航先生



(数学科:1年2組)、戸矢崎優先生(保健体育科:3年3組)の4名の皆さんです。皆さんは、「中学時代教えていただいた恩師のような教師を目指したいです。」「母校に恩返しをするために教育実習にやってきました。」・・・etc。言い方や表現はそれぞれですが、母校で若き後輩諸君とともに学びたいという気持ちに変わりはありません。

彼らにメッセージを贈ります。

・・・若い人たちに、「教師」もやりがいがありますよ、と言いたいのです。学校に通って人間として高まりたい、深い教養を身につけたい、自分の精神性を高めたい、そんな崇高な理念を、学び続けることを通して共有できる教師も決して悪くない。そう、「教師」という仕事も悪くない。どうですか、教師を志してみませんか。そして一緒に仕事をやりませんか。・・・

良きお兄ちゃんとして、良きお姉ちゃんとして、若い世代により近い眼差しをもって、そして教育の現場に理想と夢をたっぷりもって、後輩諸君と付き合っていこうと願って来ています。良き出会いが思わぬ成長につながる化学変化をもたらしてくれることを祈りつつ、実習の日々が重なっていきます。

## 《 マンモスな数字 ～ 創立 50 周年から ～ 》

50<sup>th</sup>  
2015

創立 50 周年の歴史を紐解いていくと、その数字の巨大さに驚かされます。昭和 41 年に開校した篠ノ井西中当時の生徒数は 922 名、学級数は 23 学級でした。(明らかに 40 人規模学級でしたね。) 5 年後の昭和 46 年度には生徒数 734 名、学級数 20 と生徒数の漸減がありました。ところが昭和 57 年度に 900 名(23 学級)を越すようになるといよいよ第 2 次ベビーブームの時代に入り、昭和 60 年度には 1036 名、26 学級のマンモス学校に変貌していきます。そして翌年、ついに昭和 62 年度には生徒数 1,130 名、学級数 27 学級の篠西中最大規模の生徒在籍数を迎えることになります。

昭和 63 年には～学級数の増加にもかかわらず、ずっと西体育館ひとつで不自由を来してきたが、今年 3 月ようやく念願の東体育館が完成し、授業に部活動に行事に、あらゆる面で便利よく使用できるようになった。またプールも西体育館にあった古いものは取り壊され、東体育館の隣に新しいプールが完成したのである。～と『開校 30 周年記念誌 泉をくみあげて』にあります。また、この年の「西中を語る会」では、～生徒会主催による『西中を語る会』が開かれた。今年度も初代校長竹内隆夫先生を迎え、お話をお聞きました。昨年のお話は、創立時の精神や当時の西中ができていく様子を中心であったが、今年は「自問清掃」を中心に、本当の「自由」本当の「平等」とは何かといった、民主主義の根幹に関わるお話を伺い、一段と西中の伝統を感じるようになった。～とあります。(『同 記念誌より』)

現在使用している南校舎の技術・家庭科・美術科棟が完成した平成 5 年度には、生徒数 1001 名・学級数 28 に推移していったのです。そしてこの棟の南面に 2 面のテニスコートが造成されたのもこの年になります。

## ～ ～ 《 躍動の時 》 ～ ～

壮行会を受けて、翌 6 日(土) 東和田の市営陸上競技場で北信陸上競技会が開催され、競技場いっぱいには篠ノ井西中の風が吹き渡りました。

◇第 54 回北信陸上競技大会 < 県大会へ進出種目 >

・男子 4 × 100m R	第 1 位	46 秒 52	仙田勇人さん	伊東嵩矢さん
			戸谷泰生さん	土屋優輝さん
・男子走高跳	第 1 位	1m70	戸谷泰生さん	
・男子四種競技	第 3 位	1,726 点	大舘杏土嶺さん	
・男子 200m	第 2 位	23 秒 52	土屋優輝さん	
・男子 200m	第 3 位	23 秒 87	伊東嵩矢さん	
・女子 200m	第 4 位	29 秒 11	齊藤あやみさん	
・女子走高跳	第 6 位	1m35	山田千翔さん	



- ・男子 400m            第7位 58秒29    仙田勇人さん
- ・2年女子 100m       第8位 14秒08    竹村咲耶さん
- ・1年女子 100m       第8位 14秒85    小柳美月さん

## 《 教育相談の窓口を ご活用ください 》

◇学校での各種相談窓口について。

学校内外の生活での相談窓口がいくつかあります。多くの大人がひとりの子どもに関わっていくことで、より良い成長にアプローチしたいと考えています。遠慮なくご活用ください。

相談内容	担当者	職名等	対象
学校生活や子育ての悩み全般 *相談は随時受け付けます。 担任等にご連絡ください。	戸谷 佳子	スクールカウンセラー	保護者・生徒
発達課題や就学相談について。	中島真由美	特別支援コーディネーター	保護者・生徒
登校支援、校内外中間教室登校に関わって	小山 嘉子	登校支援コーディネーター	保護者・生徒
生活指導全般に関わって	渡辺 忠志	生徒指導主事	保護者・生徒
スクールセクハラ・パワハラ等	中山 久貴 押鐘 美幸	教頭 養護教諭	保護者・生徒

